

愛治能句会

舗装路に椎の実白く碎けるて
初生りの栗を枝ごと仏壇へ
実の一つ落ちて老樹の祠前
風倒の稲穂が遂に芽をふけり
空中に囮を張る蜘蛛の離れ業
糸筵筋目見事に揃ひたり

石地蔵啞蝉はたと来て止まる
旧道を行けば懐かし道をしへ
夏瘦せのバンドが弛む腕時計
咲ききつて天を向きたり曼珠

一穂の倒伏も無し千枚田

伊原かおる 稲屋 礼子
植田 紗子 氏本佐喜惠
岡本 伸子 久保田 季
久保田 豊 佐々木宗夫
芝 みさえ 末広みや子
久保田由布

近永愛児園竹の子川柳会

父の背を見て腕磨く子の姿
秋風にふかれておどるねこじやらし
ねこじたがあついお茶のみやけどした
こわい夢一回見るとねむれない
どうくつでライトをもつてたんけんだ
かみなりが山におちたよひかつたなあ
まづくらでかいちゅうでんきひかつてる
青いとりならんでいるよかわいいな
青二才言われてすぐにおこる人
せろてえぶみんながつかうたのしいな
くつみがきまつ白にして新学期
雨がふりやんだらにじがぱつとさく
青汁がのどにつまつてやばい顔
青い実をかじる子供のしぶい顔
ぱたぱたと涙がひとつこぼれてく

中三	高三	小四	高三	小五
高三	高一	高一	加形美由記	
高二	小三	小三	梶田	山田
高二	小六	小二	健太	優太
山崎	高二	渋谷	拓也	白井
山崎	小三	裕紀	龍也	渋谷
篠原	小三	有田	尚紀	
慶子	山口	洸士		
	清原	山口はると		
	賢斗			
	悠李			
	りさ			

大きくなったら 三島小学校

